

令和6年度 事業所による自己評価結果（公表）

事業所：ララスマイル 事業：放課後等デイサービス 公表日：令和6年11月 回答数10

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8	2	0		子どもが成長して体も大きくなり、場面によっては狭く感じることもある。部屋の割り振りや活動人数等の工夫によって、適切な環境を整えていく。
	2	職員の配置数は適切であるか	8	2	0	法令を遵守し、ご利用者の状況等により加配での配置も行っている。	
	3	事業所の設備等は、安全性や必要な配慮が適切になされていますか。	10	0	0	ヒヤリハット等をもとに環境等の調整を行っている	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	8	2	0	打合せ・ミーティング・振り返りの機会を設けている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	10	0	0		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	10	0	0	書面及びホームページでの公開を行っている。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6	1	3		現時点では第三者評価は実施を考えていないが、必要に応じて法人として検討していく。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	10	0	0	外部研修の参加だけでなく、資質向上に向けた内部研修を実施している。	非常勤職員も含め、広く資質向上の機会を提供できるよう研修会・勉強会の開催を増やしていく。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	10	0	0		より本人視点に基づいた分析を行い、計画作成につなげていく。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	5	1	発達年齢・特性に応じたツールを作成している。	子どもの願いの実現に向けた、アセスメントの取り方について理解を深め、必要なツールを作成していく。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	10	0	0	毎日プログラム、活動内容、支援方法の検討を行っている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	10	0	0	様々なことを経験して欲しいという視点を軸に、選択できる機会を設けている。	

チェック項目		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
適切な支援の提供	13	個々の状況や特性に応じた活動をとおして、支援が提供されていますか。	8	2	0		実年齢、発達年齢、置かれている状況等を踏まえた活動内容を引き続き検討、実施していく。
	14	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	9	1	0	長期休暇には外出や行事、地域交流を意識した取り組みを行っている。	土曜日の開所の際の行事や外出の機会が少ないため、体制等を踏まえ、余暇の充実した時間を提供できる機会を増やしていく。
	15	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	9	1	0		
	16	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	8	2	0	時差勤務に合わせた打合せのやり方を行っている。	
	17	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	9	1	0	勤務時間によって報告会に参加できない場合は日誌等で確認できるようにしている。	長期休暇時の時差勤務時の打ち合わせが課題。引継ぎ書や活動計画書及び記録を効果的に活用していく。
	18	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8	2	0	記録にもれのないよう、記録の付け方等について随時見直しを行っている。	個別支援計画に基づいた記載内容となるよう、記録の取り方研修を実施する。
	19	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	9	1	0		
関係機関や保護者との連携	20	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	8	2	0		新しいガイドラインの周知・理解を図る。
	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	10	0	0	児童発達支援管理責任者だけでなく、現場担当者も参加する機会を設けている	
	22	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	8	2	0	保護者と学校から協力いただき、情報共有を行っている。	
	23	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4	5	1	現在は対象者なし。	地域の利用ニーズに応じて適切に対応していく。
	24	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	9	1	0		
	25	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	10	0	0	独自の引継ぎ書類の作成、提供や「つながる支援ファイル」を活用している。	
	26	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	9	1	0		

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
	27	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	7	3	0	児童クラブ主催のイベントに参加している。	児童クラブとの交流の在り方を検討し、具体的な機会につなげていく。
	28	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	9	1	0	委員をしている。	
	29	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	9	1	0	連絡ファイル・電話連絡・LINE・面談など状況に応じて、手段を組み合わせている。	
保護者への説明責任等	30	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	6	4	0	状況により個別に対応している。	保護者同士の交流の機会や研修会等の提供を保護者の意見を聞きながら実施していく。
	31	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	10	0	0		
	32	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	10	0	0	必要に応じて面談・家庭訪問を行っている。直接だけでなく連絡帳なども活用している。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	1	0		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7	2	1	連絡帳や行事予定表などを配布して行っている。	個別の情報発信だけでなく全体に向けた情報提供の機会を考えていく。
	35	個人情報に十分注意しているか	9	1	0		
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	10	0	0	連絡帳に写真を貼るなど伝わりやすいよう工夫している。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	5	1	4	ボランティアや行事等で講師として来所してもらった。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防災マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	9	1	0	感染対策、緊急対応の会議の実施。予防や対策についてお知らせを出している。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	10	0	0	B C P, 災害対応マニュアルを整備し、定期的に訓練を実施している	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	10	0	0	法令を遵守し取り組みを行っている。	

チェック項目		はい	どちらとも えない	いいえ	工夫している点など	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	41	7	3	0	現在対象者はいないが、基本指針にのっとり検討を行っている。	
	42	6	4	0	事前確認。対応の際はダブルチェックを実施している。	
	43	9	1	0	日々の確認と振り返りを行い、月に1回はヒヤリハットを深めるための話し合いをしている。	

*この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。